



このコーナーでは弥生担当の地域おこし協力隊ノブに見つかった!!YAYOIのキラリ人をご紹介します。今回は弥生地域で環境の為、次の世代の為に無農薬、無化学肥料でお米を育てていらっしゃる素敵なお夫妻、五十川庸文さんとより子さんにお会いしてきました。



いそがわつねふみこ
五十川庸文さん より子さん



●大きな試練と奇跡
自然と次世代への想いと共にスタートを切った五十川さんのお米づくり。しかし、すぐに大きな試練が...ウナカ(害虫)の大群が来たのです。心配した知人から「このままだと一晩で真っ白になつてダメになるから、一回でいいから薬をまいてもらえませんか」と言われてどうしようかと迷ったんです」と当時を振り返るより子さん。
そんな迷いの中で、庸文さんの「何のために無農薬を始めたのか。ダメになってもいいや」という言葉で立ち返られたそうです。そして何度も読み返していた有機農業の本をふと、パラパラとめくってみたら、
その時、小さく書かれていた文が「はっと」と目に飛び込んで来たのです。それは江戸時代に水田にクジラの油をまいてウナカを叩き落としていたという害虫防除の方法でした。「あーこれだ」と思って、今はクジラの油はないので、サラダ油を夫とまいてウナカを叩き落とすというのを一晩中やってみただけです。友人も手伝ってくれました」



●26年前に無農薬・無化学肥料でのお米作りをスタート
農業のことは全く知らなかったところから、お米作りをスタート。EM菌の自然農法の先生から農業を教わり、最初は2反半(2,479㎡※1反=300坪)から始めたそう、周囲の方々からは「無農薬・無化学肥料では作れないからやめておきな」と何度も言われたそうです。それでも自分達で肥料を作り、自らの手でその肥料をまきながら土づくりをされてきました。



●最後に
最終編が、明かか、仲睦まじい五十川ご夫妻。本当に楽しく、温かく、他者や自然への思いやりに溢れたご夫妻の生き方に立ちまわで温かい気持ちにさせていただきました。
そんな優しい想いに溢れる五十川さんのお米は道の駅やよいで販売されていますので、ご夫妻に想いを馳せながら、ふくらみ輝く美味しいご飯を頂いてみてはいかがでしょうか。

●お客様への想い
お米を買ってくださっているお客様への想いも温かさに溢れています。「皆さんには美味しいって感じてもらえるのが一番、無農薬・無化学肥料、食の安全の大切さを分かっていただけたらうれしいです。うちのお米を食べると元気になって欲しい、幸せになって欲しいって想いで出荷させてもらっています」と素敵なお話で話されています。
また、去年の暮れから通法正徳(どうほうまさのり)さんが発案された垂直立って農法の野菜作りに挑戦。「野菜の元々備わっている力を最大限に活かして、肥料なし、農薬なしで、虫も来ないし、美味しいものができるし、収穫も多くなることを教えていただいたので、良いなと思う事はさせてもらってます」とお話しする庸文さんとより子さん。今まで手作りでいた肥料もご自身たちのできる許容範囲をしっかりと理解した上で、柔軟に代替案に切替えたり、あるいは良いと思った農法があれば受け入れ、やってみる、そんなしなやかな考え方や姿勢が印象的でした。

編集後記



今年もとろけそうに暑い夏がやってきます!!近頃は、コロナウィルスや物価上昇等の暗いニュースが世間を騒がせていますが、今年は弥生を熱くするイベントが盛りだくさん!あれっ!もっと暑くなりそう?・・・そんなことはありません。いっぱい遊んで、楽しんで、嫌~なことを吹き飛ばしたら、きっと気分も爽快!にはならず... (H.M)

発行：弥生まちづくり協議会
〒876-0112
大分県佐伯市弥生大字上小倉 656-1
(弥生振興局内)
TEL：0972-46-1111

もつと! 弥生の魅力と旬な人、情報等をお届けするニュースペーパー
やよい通信 vol.7 2022 7月

もつと!

弥生の魅力と旬な人、情報等をお届けするニュースペーパー

やよい通信 vol.7 2022 7月



生姜の町・やよいイメージキャラクターしょうがくん

発行：弥生まちづくり協議会

弥生地区は佐伯市中心部から近く、自然もほどよい暮らしやすい地域です。この弥生地区を「もつと!」楽しむために、おもしろく役立つ情報を不定期でお届けしています。

Topics

- 1: 道の駅やよいインフォメーション：しょうがくんがついに着ぐるみに!! 他、ロウリュサウナ
- 2: イベント情報：水辺の里の音楽会、番匠商工祭、夏宵まつり★弥生、プロギング in BANJYO
- 3: 特集：淡水魚種苗センター「鮎のちゃん掛け体験場」について
- 4: 地域おこし協力隊ノブに見つかった!! YAYOI★のキラリ人 (五十川庸文さん、より子さん)

道の駅やよいインフォメーション

よろしくね!

しょうがくんがついに着ぐるみに!!



「生姜の町・やよい」ということで、そのイメージキャラになったしょうがくん。「弥生を生姜で盛り上げよう!」という動きの中、Tさんが勝手に描いたのが始まりで、そこから多くの人に気に入られて、いつの間にかイメージキャラに定着し、着ぐるみまで完成しちゃいました。
完成した着ぐるみを見たTさんはイメージ通りの出来栄と、動きだしたしょうがくんに命が吹き込まれたと感動したそうです。



中央：ごまだし大将、右：ヒラキング

今年3月に開催された「やよいグルメウォーク&ラン」では、佐伯市内のゆるキャラ、ごまだし大将、さい吉くん、ヒラキングと共にイベントを盛り上げ、道の駅やよい21周年祭では、大分トリニータのニータンとのコラボも実現しました。

しょうがくんプロフィール

性格：照れ屋さんだが、何でも挑戦するチャレンジャー。
好きな食べ物：生姜バター餅、弥生の新鮮野菜。
得意技：自分の体をおろし金で擦って美味を作る。

これから色々なイベントに参加して、弥生の生姜をPRしていきたいとのこと。しょうがくんの出演依頼は、道の駅やよい(0972-46-5951)にお問合せ下さい。



ニータンとともに

やよいの湯に新サウナ「ロウリュ」誕生!!

今年1月、洋風風呂に新サウナ「ロウリュ」が誕生しました。ロウリュはフィンランド発祥のサウナで、熱したサウナストーンに水を掛けて水蒸気を発生させ、体感温度を一気に上げて発汗作用を促します。ストーンには約45分に1回、自動で水が噴霧されます。室内の温度はサウナとしてはやや低めの80℃なので、ゆっくり汗を流す感じでお楽しみください。

ロウリュがある洋風風呂は奇数日が女性、偶数日が男性で入れ替わりますのでご注意ください・・・サウナハットにMy マットも販売していますので一緒にどうぞ!



やよいの湯スタッフ 染矢美由紀さん

入っちゃくれ!

イベント情報

7月～10月に開催されるイベントを一挙紹介!! コロナで2年連続中止のイベントもあり、主催者も今年こそ!! と気合い入ってます。今年の夏は、弥生が賑やかでおもしろいで～

7/30 水辺の里の音楽会

18:00～20:30 弥生吹奏楽団
※雨天時は31日(日)に延期

今年は、沖縄本土復帰50周年ということで、さいき三線倶楽部を迎えて沖縄のステキな音楽と共に演奏しちゃいます。また、日本の夏といえば盆踊り! 「弥生音頭」と「いやさか節」をコールやよいの歌声と共に、吹奏楽の演奏と一緒に踊りながらお楽しみいただけます。そして、東アジア文化都市2022大分県として、中国をイメージする音楽「蘇州夜曲」を、コールやよいとコラボします。韓国の7人組グループB.T.Sの「Dynamite」や道の駅やよいの商品がもらえるクイズもありますよ。道の駅やよいの夜市も同時に開催! ちびっこ縁日、出店やおいしい食べ物と音楽を夕涼みしながらお楽しみください。感染対策もしていますので、マスク着用でお越しください。



今年も盛り上げるわよ

会場 道の駅やよい 特設会場

弥生吹奏楽団 団長 市原美香さん

8/21 番匠商工祭

10:00～15:00 番匠商工会
※荒天時は28日(日)に延期

今年で10回目の番匠商工祭。新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続で開催中止となりましたが、今年こそは開催します!! 今年の番匠商工祭には水・川と親しむイベントを多く盛り込みました。水鉄砲で楽しむウォーターサバゲーといった水で遊ぶイベントや、川と親しむイベントとしてSUP体験を予定しています。

ウォーターサバゲーは体につけた金魚すくいのポイを水鉄砲で撃ち合う爽快ゲームです。暑い夏にピッタリの遊びです。ルールも簡単で誰でもすぐに楽しめます。SUP(スタンドアップパドルボード)は、井崎川の四季の森付近の沈み橋で体験できますので、濡れてもよい服装でお越しください。

祭りでは地元弥生の特産品が当たる抽選会を予定していますので、多くの皆様のお越しをお待ちしております。



水着きてね!

場所 道の駅やよい 特設会場
問合せ 番匠商工会 0972-46-0402

番匠商工会青年部 部長 吉見正二郎さん

8/27 夏宵まつり★弥生

18:00～21:00 ※雨天時は28日(日)に延期 夏宵まつり☆弥生だあ～!

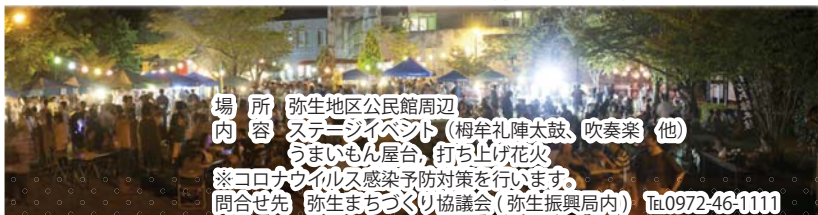
みんなが楽しみにしている夏宵まつり☆弥生。新型コロナの影響で2年連続開催できませんでしたが、今年こそ、地域のみんなで盛り上がりましょう! “ステージイベント”や“うまいもの屋台”もあるよ～☆

そして、まつりの最後を締めくくるのは夜空を彩る・・・“花火”だ～! 1400発の花火を夏の思い出に♪

みんなを誘って夏宵まつり☆弥生へGO-GO-!!

場所 弥生地区公民館周辺
内容 ステージイベント(桐年礼陣太鼓、吹奏楽 他) うまいもの屋台、打ち上げ花火

※コロナウイルス感染予防対策を行います。
問合せ先 弥生まちづくり協議会(弥生振興局内) TEL0972-46-1111



10/16

第2回プロギング in BANJYO

9:00～12:00 ※予定 番匠地域活性化事業実行委員会

プロギングとはゴミ拾い(PlockaUpp)とジョギング(Jogging)を合体させたスウェーデン発の今注目のフィットネスです。エクササイズやストレス解消をしながら、ゴミを拾って環境改善ができるSDGsスポーツです。

今年は番匠川を堪能できるコースを多く作りました! 秋に染まり始める番匠川の景色の中を走ったり・歩いたりしながらゴミを拾って、心と街をきれいにしませんか? 子どもから大人まで楽しめる4コースと少し長めの2コース。道具は全て用意しているので手ぶらで参加OK。また、自然豊かな番匠川を広めるためにフォトコンテストも開催します! 素敵な記念品も用意していますのでふるってご参加ください。

- 場所: 弥生地区公民館前
 - コース: 番匠川沿いに6コース(3km×4コース、5km×2コース) ※コースは変更する可能性があります。
 - 募集人数: 350人 ●参加料: 大人500円、高校生以下無料
- 詳しくは番匠地域活性化事業実行委員会 (佐伯市番匠商工会内 TEL0972-46-0402) までご連絡ください。



運営スタッフの皆さん

特集

淡水魚種苗センターに、鮎のちよん掛け体験場が昨年オープン!!

昨年7月、山梨子にある淡水魚種苗センターに、鮎のちよん掛け体験場がオープン。ちよん掛け漁を継承する会の会長と番匠川漁協組合長を務める泥谷和喜さんにお話を伺いました。

ちよん掛けてどんな漁?

竹竿の先端にテグスとゴムを繋げた掛け針をつけて、水中を泳ぐ鮎を「ちよん」と引つ掛ける漁法です。素早い鮎を掛けるにはコツがあります。鮎は縄張りを作る習性があり、縄張り内を行ったり来たりするのですが、そこを狙って「ちよん」と掛けるからちよん掛けです。透明度の高い清流だからこそできる漁法です。



水中で行うちよん掛け

ちよん掛け体験場について

この伝統漁法を多くの人に知ってもらい、気軽に体験してもらいたいと思いこの体験場を作ったんですよ。ドーナツ型の生け簀なので鮎がぐるぐる泳ぎ回り、それを内側や外側から、陸上で掛けることができるので、子どもや年配の方も楽しむことができます。

まずは、弥生の小・中学校の子どもたちに体験してもらい、7月20日から一般予約を受け付ける予定です。入場料を払えば、食べられるだけ鮎を掛けて塩焼きにでき、掛けられなくても一人2匹はもらえます。是非、体験してみてください。

- 期間 7月20日～9月20日 要予約:0972-46-1701(番匠川漁協)
- 入場料 中学生以上:1,500円 小学生以下:1,000円
- 内容 場内で掛けた鮎は食べ放題 お持ち帰り(1匹200円)



食べたいだけ鮎を掛けて、腹いっぱい食べてください



泥谷和喜さん